



- 2 エッセイ／“おかね”を語る
プロということ 劇作家・演出家 平田オリザ

- 4 インタビュー／扉を開く
地方都市から世界に発信できること
株式会社ネットワーク応用通信研究所 フェロー まつもとゆきひろ



- 9 地域の底力——小坂町
「あるもの」を徹底的に生かした
美しきエコタウン・小坂町を訪ねて
秋田県鹿角郡小坂町



- 16 対談／守・破・創
自然共生型文化と完璧主義、集団主義、
現場主義の日本には、明るい未来がある
ウシオ電機株式会社代表取締役会長・財団法人日本生産性本部会長 牛尾治朗
日本銀行副総裁 山口廣秀



- 20 教えて！にちぎん
「発券銀行」って何のこと？



- 24 貨幣の歴史学
円の誕生
東京大学大学院経済学研究科教授 粕谷 誠

- 28 日本銀行のレポートから
「金融市場レポート」— 2009 年7月—



- 32 トピックス
35 AIR MAIL from WASHINGTON D.C.
Pennsylvania Avenue

表紙のことは



日本銀行甲府支店は、第二次大戦の本土空襲がいよいよ激しくなった昭和二十（一九四五）年、本店業務の一部を疎開するため、七月二十三日に開設された。開設直後の業務は、甲府空襲（七月六日夜半被災。市の八割が焼失）で焼けたお金の引き換えが中心だったという。その後、終戦を迎えたことから、本店業務の疎開は実施されなかった。

開設当初の店舗は、空襲の被害を免れた山梨中央銀行相生町支店（現在の甲府商工会議所の位置）を間借りし、その後譲り受けたもの。昭和五十一年に竣工した現在の店舗は二代目となる。外壁には有田焼のタイルの濃いレンガ色を採用し、ブドウの名産地にちなんで当時の支店長が「ワインカラー」を標榜した。この時代市内ではレンガ色の建物はほとんどなく、市民の目を引いたといわれる。その後、山梨県立美術館の建設に際し、当時の知事から相談を受けた同支店長はワインカラーの採用をアドバイスしたとされ、今では山梨を象徴する建物として親しまれている。